

第17回

九州シンクロトロン光研究センター

研究成果報告会

～シンクロトロン光利用を通じた食品・農業・林業への貢献～

日時 2023年8月2日(水) 9:45～17:45

場所 グランデはがくれ

〒840-0815 佐賀県佐賀市天神2丁目1-36

主催／ 公益財団法人佐賀県産業振興機構 九州シンクロトロン光研究センター

後援／ 佐賀県、佐賀大学シンクロトロン光応用研究センター、九州大学シンクロトロン光利用研究センター、住友電気工業株式会社解析技術研究センター

協賛／ SPring-8 利用推進協議会、日本放射光学会

九州シンクロトロン光研究センター（SAGA-LS）の2023年度の研究成果報告会を開催いたします。基礎科学から産業応用までの当センターにおける幅広い活動の中で、今年度は「シンクロトロン光利用を通じた食品・農業・林業への貢献」と題して、センター設立の趣旨である地域産業の振興に直接的に関わる部分に焦点を当てます。

プログラム

9:45～10:00	開会挨拶	九州シンクロトロン光研究センター 所長 妹尾 与志木
10:00～11:00	特別講演 1	シンクロトロン光の食品分野への応用 ―神埼そうめんの食感を可視化する― 西九州大学 健康栄養学部 健康栄養学科 教授 安田 みどり
11:00～11:30	企画講演 1-1	放射光イメージングと食品・農業・林業への応用 九州シンクロトロン光研究センター ビームライングループ 主任研究員 米山 明男
11:30～13:00	休憩・ポスター発表	ポスター発表
13:00～14:00	特別講演 2	東北大学農学研究科における放射光利用とネットワーク構築への取組 東北大学大学院 農学研究科 教授 原田 昌彦
14:00～14:30	企画講演 2-1	農・食分野における放射光利用 ―事例と展望― 東北大学大学院 農学研究科 助教 日高 将文
14:30～14:45	休憩	
14:45～15:15	企画講演 3-1	サガンスギの開発経緯と材質特性 ～半世紀の取組は年輪と DNA に刻まれていた～ 佐賀県林業試験場 研究開発担当 特別研究員 江島 淳
15:15～15:45	企画講演 3-2	放射光小角 X 線散乱による木材繊維束配向評価 ～サガンスギが高強度な理由解明を目指して～ 九州シンクロトロン光研究センター ビームライングループ グループ長 廣沢 一郎
15:45～16:00	休憩	
16:00～16:30	企画講演 4-1	シンクロトロン光を用いた突然変異による微生物の育種の実例 ～酒造酵母、麹菌、珪藻の例をもとに～ 佐賀大学 農学部 生命機能科学コース 准教授 木村 圭
16:30～17:00	企画講演 4-2	県の農政施策を踏まえた試験研究の方向性について 佐賀県農業試験研究センター 所長 南 隆徳
17:00～17:30	企画講演 4-3	シンクロトロン光を活用した花きの品種開発 佐賀県農業試験研究センター 野菜・花き部 係長 坂本 健一郎
17:30～17:45	閉会挨拶	九州シンクロトロン光研究センター 副所長 山津 善直

公益財団法人佐賀県産業振興機構 九州シンクロトロン光研究センター

〒841-0005 佐賀県鳥栖市弥生が丘八丁目7番地 TEL：0942-83-5017 FAX：0942-83-5196 <http://www.saga-ls.jp>

